

2023年度冬号（1・2・3月）No.165

幻想的な冬景色 西丹沢ビジターセンター

表:霧氷・雨氷が生じやすい条件

冬の丹沢は全体的に積雪も少なく、比較的登山しやすい山域です。この時期は美しく幻想的な、霧氷や雨氷に覆われた世界を楽しむことができます。

霧氷とは空気中の水蒸気が木などに付着し凍ったものを、雨氷とは過冷却状態の雨滴が木などに付着し凍ったものをいいます。霧氷は空気を多く含んでいるため白色で柔らかく、雨氷は透明で硬い氷となります。ただし、これらは冬であれば常に見られるわけではなく、いくつかの条件が揃う必要があります。

表に示したような5つの条件が揃えば、かなりの確率で美しい氷の世界を体験することが出来るはず。冬の魔法に覆われた幻想的な丹沢をお楽しみいただけると思います。

最後に、丹沢は冬でも比較的手軽に登山を楽しむことが出来ると書きましたが、決して油断してはいけません。

登山口周辺に雪がなくても、標高が上がるほど雪や凍結した部分が出てくる場合があります。事前に天気予報や登山道の状況をしっかりとチェックし、積雪がなくても軽アイゼンやチェーンスパイクは必ず携行しましょう。その他ヘッドライト等、必要な装備は必ず携行し、早出・早着の余裕を持った安全登山を心がけていただき、冬の素晴らしい風景をお楽しみ下さい。

（執筆:須藤）

- 条件① 12月中旬～3月中旬頃
- 条件② 前日に雨などが降り地面が湿っている
- 条件③ 明け方から晴れ予報で風がある
- 条件④ 標高1,200m以上の稜線付近
- 条件⑤ 日の出から2～3時間まで朝方

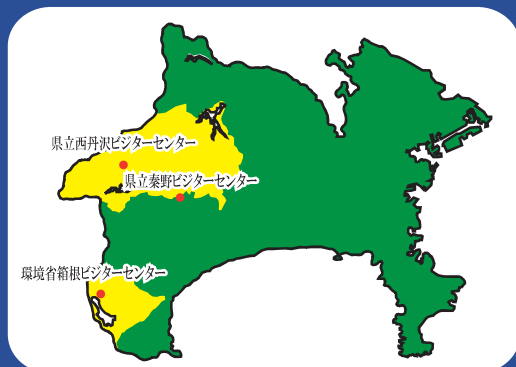


木に付着した霧氷



幻想的な冬景色

自然公園へでかけよう



開館日、開館時間、イベント予定等は各ビジターセンターまでお問合せください。

県立秦野ビジターセンター
Hadano Visitor Center
〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel 0463-87-9300
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

県立西丹沢ビジターセンター
(旧西丹沢自然教室)
Nishi-Tanzawa Visitor Center
〒258-0201 足柄上郡山北町中川867
Tel 0465-78-3940
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

環境省箱根ビジターセンター
Hakone Visitor Center
〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根164
Tel 0460-84-9981
<http://hakonevc.sunnyday.jp/>



SNS更新中！
二次元コードから
最新の情報をご覧ください！

猫の目草 秦野ビジターセンター

1月から3月にかけて、丹沢の山麓では色の少ない景色から、花が咲き、生き物たちが目覚める、彩り溢れる景色へと短い間に劇的な変化をします。

立春が過ぎてもまだ寒い2月頃には、早くも山麓の沢沿いで小さな花が咲き始めます。花らしくない花を咲かせるネコノメソウの仲間、ムカゴネコノメやヤマネコノメソウです。茶色い落ち葉の中で緑色に黄色い葯やくが目立ちます。そして、花びらのように見える白いガク片に赤い葯が可愛いハナネコノメも花を咲かせます。

「ネコノメ」という名前の由来は猫好きにはたまらない、種たねになったときの様子が「猫の目」のように見えるところから。桜が咲くころには小さな種が出来、猫の目が完成です！種は雨粒で弾け飛ばされています。

ネコノメソウの仲間は、今回紹介した他にもたくさんあります。小さくて可愛い花なので、ぜひ足元を探してみてください。猫の目のような種にもご注目を。
(執筆:谷脇)



ムカゴネコノメ



ヤマネコノメソウ



ハナネコノメ



猫の目に見えますか？

ヤマネコノメソウの種

昔の箱根 国道/酷道 箱根ビジターセンター

昔の箱根と題しましたが、1955年(昭和30年)生まれの私が、母から聞いた話や幼少の頃に体験した話になります。

私の母は戦後、静岡県裾野市から当時の仙石原村に嫁ぎました。当時は引越し業者も無い時代なので母の義理の兄が牛を引き、嫁入り道具を荷車に載せ山越えをして持ってきたと聞きました。その道は旧国道138号線(地元では通称長尾道)、現在の静岡県道401号線・神奈川県道736号線(御殿場箱根線)にあたり、静岡県御殿場から神奈川県仙石原までを結ぶ、当時まだ未舗装の道でした。嫁入り道具を運ぶ途中には長尾峠下のすいどう隧道を通り、まる1日かけて仙石原に漸く到着です。隧道の完成は1914年8月(大正3年)で、箱根では現在最古の道路用隧道(長尾トンネル・当時はレンガ造り)です。

私は幼少の頃、長尾道を通り御殿場まで行くのが楽しみでした。ボンネットバスの一番後ろの席に兄と座り、悪路でバスが揺れてお尻がポッコンポッコンと上下左右に動くのが面白かったからです。

先日久しぶりにこの長尾道に行きましたが、山道に慣れている地元住民でもやはり多少酷な道ですね。しかし峠の風景は箱根側・御殿場側も絶景なので、運転に自信がある方は是非訪れてみてください。
(執筆:塩川)



峠から箱根方面に見える芦ノ湖



峠から御殿場方面に見える富士山